平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月26日

上場会社名　キムラユニティー株式会社　　上場取引所　東 名
コード番号　9368　URL　http://www.kimura-unity.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 木村　幸夫
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理副本部長　(氏名) 小山　幸弘　TEL 052-962-7053
四半期報告書提出予定日　平成24年11月9日　配当支払開始予定日　平成24年11月27日
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　有
四半期決算説明会開催の有無　:　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	19,204	6.8	493	38.2	571	55.7	344	83.6
24年3月期第2四半期	17,974	2.2	357	△34.1	366	△37.4	187	△46.6

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　554百万円　(96.4%)　24年3月期第2四半期　282百万円　(△25.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	28.55	—
24年3月期第2四半期	15.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	40,718	21,671	52.0
24年3月期	40,844	21,240	50.9

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　21,171百万円　24年3月期　20,807百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	10.00			
25年3月期(予想)			—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	2.1	1,310	2.0	1,450	3.1	840	18.7	69.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	12,070,000 株	24年3月期	12,070,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,601 株	24年3月期	1,547 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	12,068,422 株	24年3月期2Q	12,068,453 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1．当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（６）セグメント情報等 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１） 連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景に、緩やかに回復の動きが見られたものの、欧州の財政・金融問題の長期化や中国を中心とした新興国での経済の減速といった海外要因に加え、円の高止まりやデフレの長期化等、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

また、当社グループと関係の深い自動車業界は、エコカー補助金等の影響もあり、生産、販売とも全体的には回復基調で推移しましたが、一方で、円の高止まりやエコカー補助金の終了に加え、期の後半での外交問題の発生等、先行きは厳しい状況であると考えております。

このような環境の中で当社グループにおきましては、引き続き中国子会社が順調に推移したことやＮＬＳ（ニューロジスティクスサービス）事業での職域拡大による拡販等により受注は順調に推移しました。

その結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は19,204百万円（前年同期比6.8％増収）となりました。利益面においては、営業利益が493百万円（前年同期比38.2％増益）、経常利益は571百万円（前年同期比55.7％増益）、四半期純利益は344百万円（前年同期比83.6％増益）と、前年同期の東日本大震災の影響から大きく回復することができました。

なお、主なセグメント別の売上高（セグメント間の内部売上を含む）、営業利益の状況は次のとおりであります。

① 物流サービス事業

物流サービス事業は、国内では、前年同期の東日本大震災からの復旧・復興に伴い受注が回復したことや、引続き中国天津及び広州の子会社の受注が拡大したこと等により、売上高は12,840百万円（前年同期比8.7％増収）となりました。一方、営業利益は、北米子会社ＫＩＭＵＲＡ，ＩＮＣ．の収益改善の遅れ、ＮＬＳ（ニューロジスティクスサービス）事業の生産性改善の遅れ、職域拡大に伴う生産準備費用が予想以上に増加したこと等により、546百万円（前年同期比9.0％減益）となりました。

② 自動車サービス事業

自動車サービス事業は、大手リース会社とのアライアンスによる車両メンテナンス受注の大幅な伸びや自動車販売がエコカー補助金等の影響により大きく回復したこと等により、5,719百万円（前年同期比4.1％増収）と増収に転ずることができました。営業利益においても、売上高の増収に加え、リース事業を中心に取り組んでおります収益改善効果等により326百万円（前年同期比4.2％増益）となりました。

③ 情報サービス事業

情報サービス事業は、長期化する企業のシステム投資抑制の影響等により、売上高は534百万円（前年同期比7.5％減収）となりましたが、営業利益は、前年同期に発生した新規受注案件の生産性の悪化によるシステム開発コストの発生がなくなったことと、収益改善活動効果等により、65百万円（前年同期は94百万円の損失）と黒字に回復することができました。

④ 人材サービス事業

人材サービス事業は、売上高は338百万円（前年同期比5.8％減収）となりましたが、営業利益は、原価削減効果等により、32百万円（前年同期比19.2％増益）となりました。

（２） 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べ583百万円減少し、18,531百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ457百万円増加し、22,187百万円となりました。主な要因は、中国天津子会社での第一倉庫の積層化や国内の犬山工場の改築工事等の設備投資によるものであります。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,542百万円減少し、8,234百万円となりました。主な要因は、１年内償還予定の社債の減少等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ985百万円増加し、10,811百万円となりました。主な要因は、長期借入金の増加等によるものであります。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べ431百万円増加し、21,671百万円となりました。主な要因は四半期純利益の計上及び為替換算調整勘定の増加等によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比1.1ポイント上昇の52.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ837百万円減少し、3,667百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。
（営業活動によるキャッシュ・フロー）
当第２四半期連結累計期間におきましては120百万円の収入（前年同四半期は329百万円の支出）となりました。主な要因は売上債権の減少等によるものであります。
（投資活動によるキャッシュ・フロー）
当第２四半期連結累計期間におきましては663百万円の支出（前年同四半期は207百万円の支出）となりました。主な要因は有形固定資産の取得による支出の増加等によるものであります。
（財務活動によるキャッシュ・フロー）
当第２四半期連結累計期間におきましては313百万円の支出（前年同四半期は31百万円の収入）となりました。主な要因は社債の償還等によるものであります。

（３） 連結業績予想に関する定性的情報
通期の見通しにつきましては、円の高止まりやエコカー補助金の終了等による景気減速要因に加え、外交問題からの経済への悪影響等、引続き不透明で厳しい状況が続くものと思われます。
このような環境の中、当社グループの業績につきましては、新規事業所の生産性改善の遅れ、職域拡大に伴う生産準備費用が予想より増加したことや連結子会社でありますＫＩＭＵＲＡ，ＩＮＣ．の受注量の落ち込みに加え、中国での主要顧客の生産台数の大幅削減による海外輸出梱包の受注量の大幅な落ち込みが予想されることから、平成24年4月27日に公表しました業績予想を本日下方修正いたしました。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
（減価償却方法の変更）
当社及び国内子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。
これによる第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,955,441	4,137,489
受取手形及び売掛金	5,316,780	5,233,466
リース投資資産	7,181,836	7,392,832
商品及び製品	89,578	145,631
仕掛品	52,745	41,098
原材料及び貯蔵品	101,134	106,563
繰延税金資産	293,688	294,220
その他	1,129,320	1,185,639
貸倒引当金	△5,700	△5,400
流動資産合計	19,114,824	18,531,540
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,632,337	8,182,130
機械装置及び運搬具（純額）	408,209	421,779
貸与資産（純額）	314,796	292,921
土地	5,907,683	5,907,832
建設仮勘定	390,389	257,236
その他（純額）	384,496	365,101
有形固定資産合計	15,037,912	15,427,002
無形固定資産		
のれん	6,895	4,904
その他	615,451	619,869
無形固定資産合計	622,346	624,773
投資その他の資産		
投資有価証券	2,845,763	2,829,914
繰延税金資産	583,692	615,594
その他	2,642,656	2,693,017
貸倒引当金	△3,056	△3,056
投資その他の資産合計	6,069,056	6,135,470
固定資産合計	21,729,315	22,187,246
資産合計	40,844,140	40,718,787

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,024,869	743,175
短期借入金	1,185,920	1,112,887
1年内償還予定の社債	1,000,000	―
1年内返済予定の長期借入金	212,309	142,462
未払金	3,176,578	3,274,067
未払費用	1,895,267	1,725,434
未払法人税等	205,166	214,650
賞与引当金	603,272	561,323
役員賞与引当金	―	5,000
その他	473,654	455,835
流動負債合計	9,777,039	8,234,838
固定負債		
長期借入金	1,000,000	2,025,948
長期未払金	5,872,633	5,860,718
退職給付引当金	1,850,215	1,830,458
再評価に係る繰延税金負債	1,010,095	1,010,095
その他	93,248	84,753
固定負債合計	9,826,192	10,811,974
負債合計	19,603,231	19,046,812
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,580,350	3,580,350
資本剰余金	3,420,139	3,420,139
利益剰余金	13,589,774	13,813,668
自己株式	△1,290	△1,330
株主資本合計	20,588,974	20,812,827
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	434,393	371,735
土地再評価差額金	399,762	399,762
為替換算調整勘定	△615,394	△412,625
その他の包括利益累計額合計	218,761	358,872
少数株主持分	433,172	500,274
純資産合計	21,240,908	21,671,974
負債純資産合計	40,844,140	40,718,787

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	17,974,244	19,204,454
売上原価	15,366,570	16,430,510
売上総利益	2,607,673	2,773,943
販売費及び一般管理費	2,250,161	2,279,993
営業利益	357,512	493,950
営業外収益		
受取利息	544	611
受取配当金	18,074	19,223
持分法による投資利益	65,118	103,919
その他	19,349	34,180
営業外収益合計	103,087	157,934
営業外費用		
支払利息	50,167	50,071
為替差損	41,887	27,020
その他	1,754	3,611
営業外費用合計	93,809	80,703
経常利益	366,790	571,181
特別利益		
固定資産売却益	1,230	1,195
特別利益合計	1,230	1,195
特別損失		
固定資産除売却損	9,177	8,987
災害による損失	136,083	－
その他	10,675	314
特別損失合計	155,936	9,302
税金等調整前四半期純利益	212,084	563,074
法人税、住民税及び事業税	33,402	185,128
法人税等調整額	△45,948	△531
法人税等合計	△12,546	184,596
少数株主損益調整前四半期純利益	224,631	378,477
少数株主利益	36,969	33,899
四半期純利益	187,661	344,578

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	224,631	378,477
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△77,137	△62,657
為替換算調整勘定	128,679	232,542
持分法適用会社に対する持分相当額	6,191	6,157
その他の包括利益合計	57,733	176,042
四半期包括利益	282,364	554,519
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	225,946	484,689
少数株主に係る四半期包括利益	56,417	69,830

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	212,084	563,074
減価償却費	582,985	546,421
のれん償却額	2,276	1,990
持分法による投資損益（△は益）	△65,118	△103,919
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△8,363	△300
賞与引当金の増減額（△は減少）	16,455	△44,270
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△10,000	5,000
退職給付引当金の増減額（△は減少）	20,946	△19,756
受取利息及び受取配当金	△18,641	△19,857
支払利息	130,518	128,448
為替差損益（△は益）	33,343	24,567
投資有価証券評価損益（△は益）	5,976	－
有形固定資産売却損益（△は益）	△48,341	△9,983
有形固定資産除却損	8,866	8,985
売上債権の増減額（△は増加）	△558,109	147,811
たな卸資産の増減額（△は増加）	△65,743	△48,732
リース投資資産の増減額（△は増加）	△205,192	△372,096
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△218,761	△201,837
仕入債務の増減額（△は減少）	195,400	△283,727
その他の流動負債の増減額（△は減少）	121,757	100,546
長期未払金の増減額（△は減少）	△211,596	△11,914
その他の固定負債の増減額（△は減少）	△44,558	293
小計	△123,814	410,744
利息及び配当金の受取額	55,860	46,759
利息の支払額	△130,243	△126,716
法人税等の支払額	△131,693	△210,143
営業活動によるキャッシュ・フロー	△329,889	120,643
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50,000	△20,000
有形固定資産の取得による支出	△305,315	△599,095
有形固定資産の売却による収入	82,299	37,115
投資有価証券の取得による支出	△689	△734
投資その他の資産の増減額（△は増加）	65,979	△80,397
貸付金の回収による収入	40	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△207,685	△663,111

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	564,623	△134,239
短期借入金の返済による支出	△412,430	－
長期借入れによる収入	1,000,000	1,025,102
長期借入金の返済による支出	△1,000,000	△80,990
社債の償還による支出	－	△1,000,000
自己株式の取得による支出	－	△40
配当金の支払額	△120,645	△120,611
少数株主への配当金の支払額	－	△2,728
財務活動によるキャッシュ・フロー	31,547	△313,507
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,037	18,023
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△492,990	△837,952
現金及び現金同等物の期首残高	4,327,162	4,505,441
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,834,172	3,667,489

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	物流サービス事業	自動車サービス事業	情報サービス事業	人材サービス事業	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高							
外部顧客への売上高	11,815,377	5,462,607	577,773	118,485	17,974,244	－	17,974,244
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	32,983	－	241,187	274,170	△274,170	－
計	11,815,377	5,495,590	577,773	359,672	18,248,414	△274,170	17,974,244
セグメント利益又は損失（△）	600,785	313,079	△94,132	27,511	847,244	△489,732	357,512

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△489,732千円には、セグメント間取引消去1,521千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△491,253千円が含まれております。その全社費用の主なものは、当社の人事、総務及び経理等の管理部門に係る費用であります。
２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	物流サービス事業	自動車サービス事業	情報サービス事業	人材サービス事業	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高							
外部顧客への売上高	12,840,267	5,692,069	534,659	137,457	19,204,454	－	19,204,454
セグメント間の内部売上高又は振替高	462	27,786	－	201,375	229,624	△229,624	－
計	12,840,730	5,719,855	534,659	338,833	19,434,079	△229,624	19,204,454
セグメント利益	546,490	326,083	65,881	32,797	971,253	△477,303	493,950

（注）１．セグメント利益の調整額△477,303千円には、セグメント間取引消去1,521千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△478,824千円が含まれております。その全社費用の主なものは、当社の人事、総務及び経理等の管理部門に係る費用であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。